

Mission 3 日常からの備えと「災害対応」



「残るカードは1枚。公共下水道の大きな役割は水害を防ぐことだから、きっとここにポイントとなるカードがあるはず。ここは雨水をくみ上げて川に流すポンプ場だね」

「最近の雨の降り方は、どんどん激しくなってきたから、この施設はいつでもフル稼働できるように備えておかないとね。ついこの前、大きなエンジンを取り換えたところだから、その近くにカードがないかなあ。カーワ探して」

「わー!! エンジンは5つもあるんだ。あっ、ここだね」
カーワは最後のカード **「災害対応」** を見つけた。

「災害対応」が示すポイント
▼
災いは忘れる前にやってくる

近年、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化する傾向にあり、いわゆるゲリラ豪雨が市内でも頻発し、内水氾濫のリスクが大きくなってきています。これまでから、浸水の実績のある地区や発生するおそれのある地区について、被害を軽減するよう優先的に浸水対策を行っています。今後、これはこれらのハード対策に加え、内水ハザードマップ作成などのソフト対策にも取り組んでいく必要があります。

また、下水道施設は公衆衛生や降雨時に重要な役割を担うため、今後起こりうる地震に備え、被災時でも社会的影響を最小限にする耐震対策に取り組む必要があります。なお、災害時や緊急時に迅速で的確な対応を行うために、一定数の技術職を局内に配置しマンパワーの確保を図ります。

用語解説	内水氾濫	市街地などに降った雨が排水路や下水管の雨水処理能力を超えた際や、雨で川の水位が上昇して市街地などの水を川に排出することができなくなった際に、市街地などに水が溢れてしまう浸水被害のこと
	ハード対策	建物を耐震補強したり物理的な防災対策のこと
	内水ハザードマップ	自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関連施設の位置などを表示した地図のこと

Mission Continue 持続させる事業運営

「カードを3枚集めることができた。このカードのポイント **「平準化」** **「広域連携」** **「災害対応」** で、きれいな川を守って、大雨のときも安心できるね」とニーシ。

でも、カーワは「いやいや、時代の流れはすごく早いし、変化していく。いつも誰かが、油断しないで見直ししていかないと」

「そうだ、このビジョンは10年間を見ているけれど、もっと途中で見直しをかけないとね。また、3～5年経ったら、3人で新しいポイントを探す旅に出ようね」

下水道事業は、持続的発展が可能な社会の構築に貢献するための、終わりのない旅です。



新下水道ビジョンまとめ

ここでは、親しまれる説明をという思いで、ビジョンの紹介ポイントとして「平準化」「広域連携」「災害対応」の3点をあげました。このポイントは、今後10年間、効率的かつ安定的に持続可能な下水道事業を進める重要な要素になります。

公共下水道事業は、水道事業と合わせ、生活に最も身近で、大切なライフラインです。できる限り現在の使用料を維持しながら、安全・安心、環境衛生の向上を図る使命を果たしていけるよう、ビジョンに基づく施策を展開していきます。

詳しい内容は上下水道局ホームページに掲載。ここで紹介するのは、新下水道ビジョンの内容の一部です。全文はホームページで見られます。

